

登米市公共施設等総合管理計画個別計画（最終案）に対する意見

●意見

個別計画名	集会施設の個別計画
意見 1	No. 3 豊里鵠波コミュニティセンターについて
内容・理由等	<p>豊里鵠波コミュニティセンターは、豊里町鵠波三区（山根行政区、白鳥行政区、鵠波行政区）の3行政区で管理運営を行っています。</p> <p>鵠波三区の各行政区には、行政区毎に集会所があり、様々な行事や事業等については、各行政区単位で行っている状況です。</p> <p>そのため、当該施設を地域移管された場合、鵠波三区では施設の維持管理を行うための経費等を捻出することは大変困難な状況にあります。</p> <p>しかしながら、地震や台風など、いつどこで発生するかわからない大規模な災害に備えるためにも、地域の避難所として存続させる必要があると考えます。</p> <p>指定避難所の施設でもあり、高台に建築された豊里唯一の集会施設であることから、今後も行政が管理する施設として現状維持してくださるようお願いいたします。</p>

●回答（意見に対する考え方）

意見に対する考え方	<p>集会施設につきましては、市民主体の有効な利用を目的とした管理運営や公平性の確保の観点から、「集会施設適正化推進計画」に基づき、譲与等を進めております。</p> <p>このことから、鵠波コミュニティセンターについても、本計画に基づき、令和13年度以降に地域移管する計画としているものです。</p> <p>なお、今後、地域移管を進めるにあたりましては、地域の皆様へ丁寧に説明をさせていただきたいと考えております。</p> <p>防災上の関係におきましては、現在、豊里地区の指定避難所は6箇所となっており、豊里鵠波コミュニティセンターは、浸水想定区域や土砂災害警戒区域に含まれていないため、地震のみならず洪水や土砂災害にも対応する避難所であることから、昨年8月末には、豊里地区における災害時に優先的に開設する避難所の一つとして周知しているところであります。</p> <p>このことから、豊里鵠波コミュニティセンターは、豊里地区住民の避難先として重要な役割を担っておりますので、当該施設が地域移管された場合におきましても、地域との応援協定の締結などにより、避難所としての利用ができる様取り組んでまいりたいと考えております。</p>
-----------	--

登米市公共施設等総合管理計画個別計画（最終案）に対する意見

●意見

個別計画名	集会施設の個別計画
意見2	No. 26 豊里多目的研修センターについて
内容・理由等	<p>指定避難所に指定されている豊里公民館には調理室が無いため、災害が発生した場合、短期の避難所であれば、備蓄している非常食、支援物資や炊き出しなどにより対応できると考えますが、避難生活が長期に及んだ場合、避難者自らが調理を行うことができません。</p> <p>東日本大震災では、仮設住宅やみなし仮設住宅への入所に時間を要したため、避難所生活が長期間に渡り、避難者の方々が自らで食事を用意しなければならない状況でした。</p> <p>豊里公民館では、豊里地区において指定避難所の第一候補であり、豊里以外の公民館等で調理設備の無い施設は存在しません。</p> <p>豊里多目的研修センターを豊里公民館の一部として位置づけし、今後も必要な改修等を行いながら、豊里公民館と同様に現状維持していただき、災害に対応可能な地域づくりができるよう存続をお願いします。</p>

●回答（意見に対する考え方）

意見に対する考え方	<p>豊里多目的研修センターにつきましては、建設から 35 年が経過し、今後、老朽化による多額の修繕費及び建替・更新費用の財源確保が必要となり、また、平成 22 年に建設された豊里公民館が新しい地域の拠点施設となっていることから、令和 13 年度以降に除却する計画としております。</p> <p>災害時における食料の関係につきましては、市内どの避難所におきましても、避難期間に関わらず、市からの配給や避難者等による炊き出しなどを想定しておりますが、配給については、基本的に調理不要な食料で対応することで準備しているところです。</p> <p>また、ご意見のとおり、豊里公民館としては調理室が設置されていない構造となっておりますが、災害が発生し、炊き出しが必要となった場合には、豊里総合支所において日本赤十字社の大鍋等の調理器具を備えておりますので、公民館敷地内での炊き出しも可能であるものと考えております。</p> <p>なお、仮に公民館敷地内で炊き出しができない場合には、豊里・登米学校給食センターをはじめとした近隣の公共施設等で炊き出しを行い、避難所へ配送することも検討してまいりたいと考えております。</p> <p>防災上の関係におきましては、現在、豊里地区の指定避難所は 6 箇所となっております。豊里多目的研修センターは、東日本大震災時に避難所として活用した実績があり、浸水想定区域にも含まれていないことから平成 29 年度末に新たに避難所として指定した施設の一つであります。</p> <p>このことから、豊里多目的研修センターは、豊里地区住民の避難先として重要な役割を担っているものと考えておりますが、一方では、豊里地区</p>
-----------	--

<p>の避難所で収容人数が最も多い豊里小中学校と近接な位置関係にもあり、今後、人口の減少も予測される中で、老朽化などにより施設を維持することが困難となった場合には、地域の避難者収容人数などの十分な調整を行った上で、避難所の整理を行ってまいりたいと考えております。</p>
